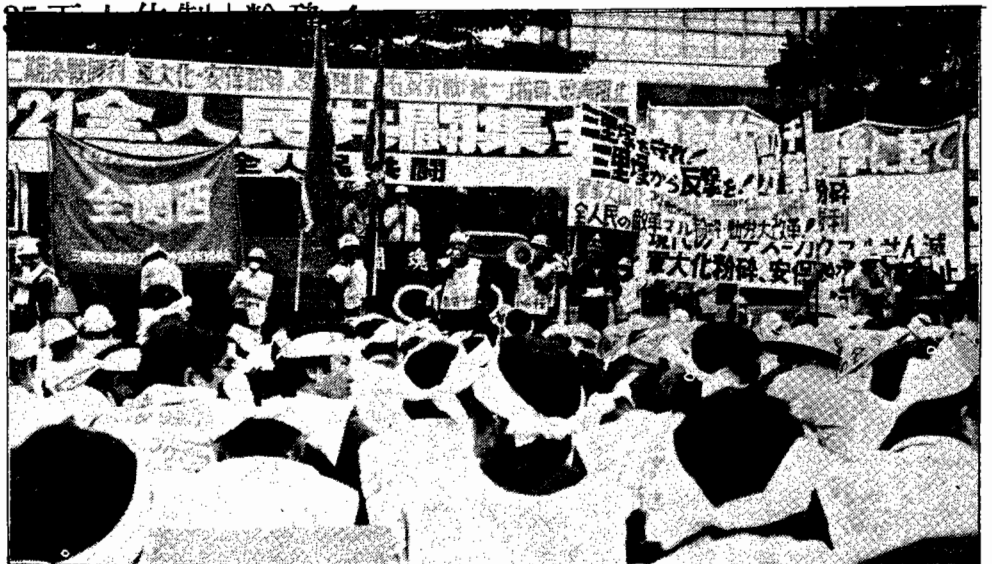


日刊 勤労千葉

81.10.23
No876

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・八系) 電三三三(七)七二〇七



10.21全人民共闘集会(東京・芝公園)

国際反戦デー 10.21全人民共闘集會高揚

三里塚・ジェット闘争貫徹！ 国鉄

立てて大挙あげつけた反対同盟農民を代表して挨拶に立った北原事務局長は、「三里塚空港は軍事空港であり、絶対につぶさねばならない。それが反戦平和につながる正義の叫びだ。二期工事は絶対に阻止する。」と強調し、「勤労千葉の813決起は実に偉大であり、今日ますます輝きを増してきている。昨日の総評集会は混迷をくきほりにした。しかし、あの労働者たちは、勤労千葉に続いて必ずや我々のもとへ結集するだろう事を期待したい。そののみが勝利の展望を開く。」と述べた。

10.20、21反戦闘争に、勤労千葉四五〇名が決起

続いて、昨日の10.20中央集会(明治公園)に二〇〇名、千葉県集會(本町公園)に二〇〇名、そして本日の全人民共闘集會(芝公園)に二〇〇名、合計四五〇名が連続決起した勤労千葉を代表して、奥川委員長が拍手の中を登壇した。奥川委員長は「私達は今日まで、三里塚軍事空港と危険なジェット燃料の輸送に反対して叫びを続けてきたが、先日10月13日の横濱にお

三里塚こそ、反戦=平和の正義の叫び

10.20、21連続決起を貫徹
三里塚を軸に、戦争への道を阻止しよう

現在、一人の例外もなく、全ての労働者、人民に対して、軍事大国化改憲にむけた反動攻勢がかけられている。それは労働運動の面では、労働「統一」という総評解体の攻撃として集中しており、日本の労働運動は今日、重大な危機に直面している。

最初に、ムシロ旗を押し、米軍ジェット燃料タンクの爆発は、我々の指摘と闘争の正しさを証明した。日米支配者の戦争政策の中でこれからもう一つという事故は続発するにちがいない。」と弾劾すると共に、「昨日の明治公園の事態にみられるように、指導部の右翼的労働「統一」に抗して、広範な現場労働者には危機感と闘う意志が渦まいている。問題は、それをどのような勝利の路線に結合して物費力に転化させるかだ。三里塚を闘い勝利させる労働運動、この路線こそが今日の日本の労働運動を戦術的にたて直し、軍大化改憲を阻止する唯一の道だ」という事を、全ての労働者はしっかりと理解し、転場、地域から自前の叫びをつくり出さなければならぬ。

813決起をやりぬいたわが勤労千葉は、右翼労働「統一」反対の一大潮流、総結集のため、大胆に全国にうてる。この決意、方針を明らかにした。

右翼労働「統一」の最先兵 勤労「本部」反動分子弾劾

更に、10.20明治公園の事態は、右翼的労働「統一」の最も凶暴な兵が勤労「本部」革マル反動分子に他ならぬ事をかくしようもなく本性、バクロした。彼らは、口先だけ、反対を称して、本音は、「統一準備会参加の方向に勤労や総評を引っぱっていく基本方針を立てている。告新路線、警察労働運動、それに、闘う部分への暴力的襲撃、排除——これらの反労働者的、

右翼的路線を今こそバクロ、弾劾し、勤労はじめ全戦線から追放・掃蕩する事が、重大な任務」と決意をこめて誓った。このあご集會は、東京実行委員会、世話人、浅田光輝氏からの基調報告をうけ、全国の各戦線で闘う代表からの多くの決意表明をうけ、会場全体を揺るがすシリアレヒコールをもって集會は大高揚のうちに終了し、都心デモを堂々と貫徹した。

三里塚を闘う労働運動の全国的拡大をかちとろう

「もはや戦後は終り、新たな戦前が始まった。」という、奥西東灘住民の会の山本氏の言葉通り、戦争の現実性が日々強まり、社会、総評、既成指導部の屈服、解体が深まる今日、「三里塚を闘う労働運動」の拡大こそが唯一の勝利への道であることが鮮明となった。10.21を起点に更に前進しよう。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！